

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立小高原小学校長
佐藤 貴裕

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月17日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましては7月に個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、小高原小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	・全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・学習指導要領の内容で示す「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」「読むこと」「話すこと・聞くこと」の全ての内容において、本校はほぼ平均的であり満足できる状況である。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力が、特によく定着していた。 ・今後は、説明文等の学習において、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる力を伸ばしていきたい。
算数	・全体的によく定着しており、とても満足できる状況である。 ・学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域において、本校は平均的を上回りとても満足できる状況である。 ・「図形」において、問題を解決するために、図形の面積の求め方を理解し、式や言葉を用いて記述する力がよく定着していた。 ・今後は、数学的活動の楽しさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決したり、算数で学んだことを生活や学習に活用したりする力を伸ばしていきたい。
理科	・全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・学習指導要領の領域で示す「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域において、本校はほぼ平均的であり満足できる状況である。 ・電流の働きを調べる活動において、それらについて理解し、観察や実験などに関する技能を身に付け、根拠のある予想や仮説を発想する力がよく定着していた。 ・今後は、自然の事物・現象を調べる際に、条件を制御しながら、より妥当な考えをつくり出すといった問題解決の力を伸ばし、多面的に捉えられるようにしたい。
児童質問紙	・「自分には、よいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と感じ、「人の役に立つ人間になりたい」と願いながら「普段の生活の中で、幸せな気持ちになれる」児童の割合がとても高い。 ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組むことで、「人が困っているときは、進んで助ける」「いじめは、どんな理由があってもいけない」と感じている児童の割合がとても高い。 ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考えている児童が多いが、「地域の大人に、授業や放課などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」児童が少ない。地域学校協働活動との連携を図り、地域社会とのつながりがもてるようにしていきたい。 ・学習の場でタブレット端末の有効性を実感している多くの子どもたちに、情報モラルへの意識を高め、約束事を守りながら活用させたい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください】